

☆6月のアラカルト

○2年生マナー講座【17日（金）4限】



職場体験をする前に、社会人として基本的なマナーを身に付けさせようと、市内の「都岐沙羅パートナーズセンター」から講師を招いての講座が行われました。相手に良い印象を与えるお辞儀など実習を含めて行われました。

○避難訓練【17日（金）5限】



「地震と津波」を想定した避難訓練が行われました。普段入ることのできない屋上にあがり、津波からの避難を行いました。最近の熊本での地震もあり、生徒は真剣な態度で取り組んでいました。

○下越地区大会激励会【22日（水）6限】




○生徒朝会「体育祭連合決め」【27日（月）8:15～】



各学年による連合（色）を決めるイベントが行われました。1年生はバットを額にあて目の回る状態で輪をまたぎ、好きなコーンの所へ。大きなコーンの中に小さな軍団色が。2年生の連合決めは、生徒と先生で2人3脚をし、好きなヒモの下に。一斉にひもを引くと軍団色が。3年生は、4人4脚で障害物またぎ、風船を割ると中から軍団色が。


**連合決め結果**  
赤軍 1-1・2-1・3-1  
青軍 1-2・2-3・3-3  
緑軍 1-3・2-2・3-2



荒川中  
だより

青い雲

村上市立荒川中学校  
平成28年度 第4号  
平成28年7月4日発行  
Tel. 0254-62-3251



---

教育目標：「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」  
目指す学校像：「勢いとハートのある学校」（ハート＝熱いハート、温かいハート、柔軟なハート）

1年の振り返り地点 7月

下越地区大会が終了し、男子卓球は団体・シングルス、バドミントンは団体・ダブルス2組、男子テニスは個人、男子剣道は個人、男子柔道は個人、陸上は9種目10名。以上、6つの部が県大会の切符を獲得しました。昨年度より、多くの生徒が県大会に進むことができ、7月25日（月）・26日（火）に行われる県大会での活躍を期待しています。

さて、7月に入り、今年も半分が過ぎ、振り返り地点となりました。あまり、大きな節目とは意識しない人が多いようですが、今年の元旦に立てた目標や志を振り返り、軌道修正を図っていききたいものです。



☆7月の主な行事から

○「安全第一」

毎年、7月1日は「国民安全の日」に定められ、この日から1週間「全国安全週間」となります。 ※「国民安全の日」は昭和35年に創設

「全国安全週間」は、昭和3年に初めて実施され、「人命尊重」という基本理念のもと、労働災害を防止するため、全国の職場で、安全推進のための様々な活動が展開されています。学校でも通学路での交通安全や施設の点検・整備等が行われます。

「安全第一」という言葉は、1906年にアメリカの製鉄会社社長、エルバート・ヘンリー・ゲーリーが唱えた言葉です。工場でのケガ人があまりに多かったため、スローガンを「生産第一」から「安全第一」に変えるとケガ人が減り生産効率も上がったのだそうです。

安全は全てに優先します。〈毎日やっていることだから〉と、安全確認や点検をおろそかにしないようにしましょう。

○「七夕」

七夕はもともと中国で行われていた行事が日本に伝わり、日本の文化と融合したものが原型とされています。

奈良時代に日本に伝わった当初は、織姫星（おりひめぼし）にあやかって、はた織りや裁縫が上達するようにと祈るものでした。やがて芸事や書道の上達を願って短冊に和歌を書き、お供えするようになった、といわれます。

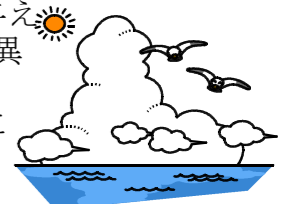
願い事を掲げることは、そこに向かって不断の努力を続けようとするエネルギーになります。やる気や積極的な行動にも結びつきます。願いや希望を文字に書きおこすことで、達成するまでの困難を乗り切る覚悟も固まるでしょう。

現在では何を願っても自由です。七夕の日には、高い目標を短冊に書いて空高く掲げてみませんか。

○「海の日」

「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ことを趣旨として、平成7年に制定されました。四方を海に囲まれた日本は、漁業や物流をはじめ、古くから海を利用し、恩恵を受けて発展してきました。その一方で、海に関連する津波などの災害や事故も絶えることがありませんでした。日本人にとって海は、様々な恵みを与えてくれる感謝の対象であり、「畏（おそ）れ」をもって付き合う自然の驚異でもあるのです。

海に出かける機会も増えるシーズンです。安全に十分配慮するとともに海の恵みに思いを馳（は）せ、自然への畏敬（いけい）の念も忘れずにいましょう。





☆親業訓練

PART2 「悪いこと」 をしたら

「子どもは、悪いことをしなければ大人になれない。悪いことをした後で良くなるか、悪くなるかは、教師と親の力量で決まる。」とある生徒指導の専門家が言うておられました。そういう時こそ、「ピンチがチャンス」で子どもとしっかりと向き合う必要があります。

悪いことの中でも、わかってするものとわからないでするものがあります。わからずに悪いことをするのは3歳くらいまでだと思います。「3つ子の魂百までも」と言われるようにこの時期にしっかりと躾(しつけ)をすることが大事です。特に家訓として「うそはつかない」「人のものを盗むな」とか具体的な行動を示してあげることです。

次に「悪いこと」とわかって悪さをする子どもですが様々な要因が考えられます。表面的な指導では繰り返すことが多いですが内面的なところを探り、根本的な解決を図る必要があります。次のような事例があります。

1 子どもたちの力関係で悪いことをする

いわゆるボスの存在が悪いことをする場合は、周りの子への力を誇示する場合があります。内心は「誰か止めてくれ」と言っている場合が多いです。周りの子が「止めなよ」と言えばボスの存在であるその子の立場は守られます。

悪いことを強要される立場の子もいます。力関係で悪いことを強いられたのですから、本来の自分の姿ではないのです。断り方を実際に話し合うと良いと思います。学校でも「ロールプレイ」という方法で断る練習をすることもあります。

2 心の訴えで悪いことをする

「親が自分に向けて欲しい」という心の叫びが悪いことをさせる場合があります。意識的なものもあれば無意識的なものもあります。「自分が親に可愛がられていない」、「自分に無関心」、「他の兄弟を可愛がる」、「兄弟や友人と比較される」などが背景にあります。「あなたは私たちの大切な子ども」というメッセージを言葉や行動で伝えることが大切です。子どもが「親に愛されている。」という気持ちを持てば大丈夫です。

3 術(すべ)を知らないことで

仲間におごったり、ものをあげたりして友達関係をつくろうとする場合があります。それがきっかけで「親友になった」という事例もあるかもしれませんが、その行動が発展して、人のお金を盗んだり、万引などの行動に走る場合があります。保護者の「親友」と呼べる人を紹介したり、そのきっかけなどを話してあげることが有効です。

他にもあると思いますが思いついたことを述べてみました。子どもが親の期待に反する出来事が起きたら、親として子どもの心や背景にあるものを見ようとすることが大切です。では、練習です。

例：点数の悪いテストを子どもが持って帰ってきました。「はい、これ」と言って下を向きながら親に渡そうとしています。申し訳ないような表情で下を向いて黙っています。この子が親にテストを渡すまでの予想される成り行きをイメージしてみてください。

- ① 先生にテストを返された時の感情
  - ② 友達に見られたかも
  - ③ 親に見せるか見せないか迷ったこと
  - ④ 見せることを決心して叱られるのを覚悟している今
- イメージした後でどんな感じになりますか？そこがポイントです。



大会報告会や激励会で紹介した言葉 「惻隠(そくいん)の情」の紹介

日本の武士道精神から。「惻」も「隠」も「心を痛める」という意味。「競争社会では必ず勝ち負けが存在する。勝てば有頂天になる。敗者への思いやりを忘れずに接することを大切にしてください」ということです。

☆下越地区大会の結果

○陸上競技部(8位入賞(祝)県大会出場)

＜男子＞					＜女子＞				
種目名	順位	氏名	年	記録	種目名	順位	氏名	年	記録
走高跳	4位	会田 康晟	3	1.65m	砲丸投	1位	磯部 萌	3	9.57m
棒高跳	1位	井上 直紀	3	3.30m	四種蹴	8位	富樫 美心	2	1262点
	2位	櫻井 隆樹	2	3.20m	100m	4位	志村 知胡	2	13.59秒
	4位	竹内 寛人	2	2.40m	200m	7位	平田 那奈	3	28.45秒
砲丸投	4位	芹野 諒	3	8.80m	100mH	2位	平田 那奈	3	15.81秒
走幅跳	8位	相馬 翔	2	5.39m					

○各種大会

部名	対戦結果・順位等	部名	対戦結果・順位等
野球	1回戦惜敗 荒川×3-4○疎川東	男子バスケットボール	1回戦惜敗 荒川×34-77○阿賀津川
サッカー	1回戦惜敗 荒川×0-1○水原	女子バスケットボール	1回戦惜敗 荒川・平林・中等×19-52○五泉北
男子テニス (団体) (個人)	1回戦惜敗 荒川×1-2○水原 ★5位 ★県大会出場 石井康貴・須貝翔 <sup>ペア</sup>	バドミントン (団体)	★3位 県大会出場 2回戦 荒川○3-0×阿賀黎明 準決勝 荒川×0-2○乙
女子テニス (団体) (個人)	2回戦惜敗 荒川○2-1×乙 荒川×1-2○五泉 磯部真央・山田桜子 <sup>ペア</sup> ベスト16 川村知穂・江端咲季 <sup>ペア</sup> 1回戦惜敗	(個人) ダブルス	★5位 県大会出場 金田陽奈・栗田来翼 <sup>ペア</sup> ★5位 県大会出場 佐藤えり・佐藤智咲 <sup>ペア</sup> ベスト16 渡邊奈央・渡邊美羽 <sup>ペア</sup> ベスト16
男子卓球 (団体)	★準優勝 県大会出場 予選 2勝1敗 荒川×2-3○七葉 荒川○3-0×築地 荒川○3-1×五泉 決勝リーグ選出決定戦 荒川○3-1×中条 決勝リーグ 荒川○3-1×三川 荒川×2-3○本丸 荒川○3-2×新発田東	シングルス	ベスト16 小川菜央、佐藤伶奈 渡邊琴美
(個人)	★県大会出場(ベスト16) 村井 杏伍 徳富 貫大 初戦惜敗 笠原涼太郎 初戦惜敗 佐藤 恭祐 2回戦惜敗 齋藤 駿 2回戦惜敗	男子剣道 (団体)	5位 県大会出場ならず 予選リーグ 2勝1敗1位 荒川○4-1×聖籠 荒川○4-1×安田 荒川×1-2○猿橋 決勝トーナメント準々決勝 荒川×0-3○五泉
女子卓球 (団体)	予選通過ならず 予選リーグ1勝2敗 荒川×1-3○中条 荒川○3-1×三川 荒川×0-3○猿橋	(個人)	★5位 県大会出場 伊藤 陽平 ベスト16 佐藤 颯、上野 秋星
(個人)	竹内明帆 初戦惜敗 佐藤杏佳 初戦惜敗	女子剣道 (団体)	5位 県大会出場ならず 荒川×0-4○佐々木 荒川○2-1×聖籠 荒川×0-5○山王 荒川×0-5○中条 決勝トーナメント準々決勝 荒川×0-4○五泉 ベスト16 村瀬 和葉
		柔道 (個人)	★3位 県大会出場 松本孝太郎(60kg級)